

異分野参入に積極的なものづくり企業 必見！

#IoT #センサー #DX #自動化 #省力化 #シングルユース製品 etc...

関西バイオものづくり異分野参入セミナー

日時

2022年9月16日(金) 13:00-15:00

会場

大阪工業大学・梅田キャンパス
OIT梅田タワー2階 204セミナー室 (大阪市北区茶屋町1番45号)

参加無料

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、微生物等の生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり(*)」が生まれ、次世代を担う産業として国内外で大きな注目を集めています。

一見、バイオものづくりは専門的な分野と思われがちですが、培養装置の自動化やセンシングなど多様なニーズが存在し、他分野で活躍するものづくり企業が自社技術を活かせる可能性があります。

本セミナーは、バイオものづくり分野を牽引するアカデミアや培養装置メーカーより、同分野の課題や求める技術をお伝えし、異分野参入の可能性を意見交換することを通して、裾野の広い分野であることをお知りいただき、ものづくり企業の皆様に同分野への参入を検討してもらうことを目的として開催します。

(*) バイオものづくりとは：微生物等の生物機能を利用したものづくりを指す。常温・常圧プロセスでの生産が可能となり、従来の化学合成における高温・高圧プロセスと比較すると、省エネで、環境にもやさしいものづくり。



➤ ご講演① 13:05-13:20

「異分野交流が結ぶバイオものづくりの新しい視点」

大阪大学大学院 工学研究科 教授 大政 健史 氏



➤ ご講演② 13:20-13:40

「バイオものづくりの社会実装を加速！バイオものづくりラボのご紹介」

大阪工業大学 工学部生命工学科 生物プロセス工学研究室 准教授 長森 英二 氏

➤ ご講演③ 13:40-13:50

「培養装置の計測技術の変遷と課題」

株式会社丸菱バイオエンジ 技術営業本部 取締役技術営業本部長 関根 誠 氏



➤ ご講演④ 13:50-14:00

「バイオものづくり シングルユース培養槽の観点から」

藤森工業株式会社 先端医療事業推進部 細胞培養事業開発部
細胞加工技術開発課 課長 松田 博行 氏



➤ パネルディスカッション 14:00-14:45

「ものづくり企業の異分野参入の可能性」

<モデレータ>

・大阪大学大学院 工学研究科 教授 大政 健史 氏

<パネリスト>

・大阪工業大学 工学部生命工学科 生物プロセス工学研究室 准教授 長森 英二 氏

・株式会社丸菱バイオエンジ 技術営業本部 取締役技術営業本部長 関根 誠 氏

・藤森工業株式会社 先端医療事業推進部 細胞培養事業開発部

細胞加工技術開発課 課長 松田 博行 氏

「異分野交流が結ぶバイオものづくりの新しい視点」

バイオテクノロジーを用いた物質生産は、医薬品、食品、化学品等、身近な様々な製品に用いられており、SDGsの観点からも大変注目されている。この生産技術は単純に生物を使った反応というだけでなく、様々な技術融合が必要とされる。本講演では、バイオものづくりにおけるIoTやDX化等も踏まえたバイオものづくりの新しい展望について述べる。

【キーワード】抗体医薬、ワクチン、生分解性プラスチック、IoT、センサー、DX

「バイオものづくりの社会実装を加速！バイオものづくりラボのご紹介」

SDGsやバイオエコノミー、ESG投資と言ったキーワードを、ニュースで見かけない日は少なくなりました。環境調和型社会の実現に向けバイオものづくりに大きな期待が集まる一方で、新しい技術ゆえの社会実装の難しさ、新規参入の難しさ、が存在することも事実です。当日は業界の動向・状況をもものづくりの観点で広くお話しし、バイオものづくりの現場や関連装置等の開発にご参画頂くきっかけについて、お考え頂けたら幸いです。

【キーワード】シングルユースバック微生物培養、センサー、自動化、省力化

「培養装置の計測技術の変遷と課題」

10年以上前にドイツから発信されたIndustry 4.0は、「スマートファクトリーの実現」が重要となっている。スマートファクトリーを実現するために、部品および機器のIoT化、さらにPlug&Produceの実装化が望まれている。培養装置においても、生産用の装置に使われるセンサーやバルブなどは、ヨーロッパを中心に、IoT化が進んでいる。しかしながら、そこには、各メーカーの戦略があり、産業全体に統一された規格はない。本発表では、培養装置の計測技術の変遷と課題について、お話し、皆様のご意見を拝聴したいと思う。

「バイオものづくり シングルユース培養槽の観点から」

微生物や動物細胞による物質生産が広く活用されている。特に動物細胞培養は、抗体医薬品やワクチン、再生医療等製品の製造に多く用いられている。それらの製造プロセスでは、洗浄滅菌が不要であり、マルチユースラインの構築が容易であるシングルユース製品が使用されている。微生物培養によるものづくりにおいてもシングルユース製品を活用することは、有効であると考えられる。シングルユース製品をバイオものづくりに活用するための課題と開発要素について説明する予定である。

締切 2022年9月14日（水）まで

申込

右記QRコード、もしくは
以下URLより、
お申込みいただけます



(URL) <https://forms.office.com/r/7H1FfyepET>

人数 50名

主催

- ・大阪工業大学
- ・経済産業省近畿経済産業局

協力

- ・バイオコミュニティ関西 (BioCK)
- ・国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

会場アクセス

【会場】

大阪工業大学・梅田キャンパス
OIT梅田タワー 2階 204セミナー室
(大阪市北区茶屋町1番45号)

【最寄り駅】

- ・JR「大阪」駅から徒歩5分
- ・地下鉄御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- ・地下鉄谷町線「東梅田」駅から徒歩5分
- ・阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- ・阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分

【URL】

以下URLより、会場までのアクセス方法の詳細をご確認いただくことができます。

(URL) <https://www.oit.ac.jp/institution/access/index.html>



(会場周辺図)

お問い合わせ：大阪工業大学 研究支援・社会連携センター 担当：平井

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番1号

TEL: 06-6954-4140 FAX: 06-6954-4066 E-mail: HIRAI.Haruka@josho.ac.jp